

※一部非公開

令和五年度入学試験問題（学校推薦型選抜Ⅱ）

小論文

人文社会学部 琉球アジア文化学科

注意事項

- 一、受験番号を解答用紙の所定の欄に記入すること。
- 二、解答は、必ず解答用紙に記入すること。問一は表面、問二は裏面に書くこと。
- 三、解答用紙の他に、下書き用紙を配付するので、取り違えないように注意すること。
- 四、解答時間は、一二〇分である。
- 五、縦書き、鉛筆（シャープペンシルを含む）書きにすること。

非公開

問題

次の文章を読んで、あとの問題に答えなさい。

非公開

非公開

非公開

非公開

非公開

非公開

(福嶋亮大、『思考の庭のつくりかた はじめての人文学ガイド』、星海社、二〇二三年、五四〜六七ページ、抜粋・一部改変)

問一 傍線部①について、本文の内容を踏まえて、筆者の意図するところを六〇〇字以内で説明しなさい。

問二 傍線部②を踏まえて、人々の意識の「へり」と歴史学、民俗学、文学、言語学との関係について、四つの分野から一つ選び、あなたの考えを六〇〇字以内で論じなさい。

令和五年度入学試験問題 (学校推薦型選抜Ⅱ)

小論文

人文社会学部 琉球アジア文化学科

出題の意図

琉球アジア文化学科は、琉球・沖縄および日本、アジアの諸地域の言語・文学・歴史・民俗への理解を深めることを目指している。したがって、本学科の入学希望者には、これら諸地域の文化への深い関心はもとより、そうした文化を生み出す社会の仕組みへの持続的な探究心やその研究対象に向き合う上での表現力をも求められる。問題文は、人文学で重要な思考のプロセスについて、「読むこと」「書くこと」「考えること」を軸に著者の具体的な事例から「批評」を多角的に論じたものである。本出題の意図は、論旨を正確にとらえる読解力と、問題文における「批評」という主題を踏まえつつ、自身の言葉で説明できるかと問うことにある。加えて、本文中で示された「批評」の議論を踏まえて、「意識のへり」について自分自身の考えを論述させ、受験生の発展的な思考力や論理構成力、言語表現力をみることにある。